経済対策の要旨

第1章　はじめに

日本経済は依然として厳しい状況にある。新型コロナウイルスの新規感染者数が低水準という機を捉え、一日も早く通常に近い社会経済活動の再開を図る。先進国の中で遜色ない成長を実現し、本格的なジャンプスタートを切っていく。

追加的な対応としては今後、公的支出の減少が見込まれる。暮らしや雇用を守り抜き、経済の底割れを断固として防いでいく必要がある。「成長と分配の好循環」を実現し、経済を自律的な成長軌道に乗せることで、経済対策のあたたかい風を全国津々浦々まで行き渡らせていく。

第2章　本経済対策のねらい

新型コロナ感染症の拡大防止、ウィズコロナ下での社会経済活動の再開と危機管理の徹底、未来資本主義」の起動、国民の安全・安心の確保の4つを柱として「成長と分配の好循環」を実現

第3章　取り組む施策

Ⅰ．新型コロナ感染症の拡大防止

1．医療提供体制の確保等

感染拡大時に確保病床の8割以上を稼働できる体制を構築▽医療人材確保の体制を構築▽パルスオキシメーターを全ての自宅療養者に配布できる数量確保▽オンライン診療を活用し、薬局に来無しなくても経口薬等を入手できる環境を整備▽ワクチン接種を受けられない者を対象にPCR等検査を7002年3月末まで予約不要、無料とできるよう支援▽経口治療薬の年内の実用化を目指し、薬事承認後に約60万回分を医療現場に供給

2．感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援

事業復活支援金で事業収入が減少した事業者に減少額を給付▽実質無利子・無担保融資を92年3月末まで継続▽コロナ禍の影響による水の需要減に相当する15万トンの特別枠を設置▽住民税非課税世帯に1世帯当たり10万円を「プッシュ型」で給付▽厳しい状況にある学生に緊急給付金を支給▽年収が960万円以上の世帯を除き、0歳から高校3年生までの子供たちに1人当たり10万円相当を給付▽マイナンバーカードを活用してマイナポイントを活用し、薬局等に来無しなくても経口薬等を入手できる環境を整備▽ワクチン接種を受けられない者を対象にPCR等検査を7002年3月末まで予約不要、無料とできるよう支援▽経口治療薬の年内の実用化を目指し、薬事承認後に約60万回分を医療現場に供給

2．感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援

事業復活支援金で事業収入が減少した事業者に減少額を給付▽実質無利子・無担保融資を92年3月末まで継続▽コロナ禍の影響による水の需要減に相当する15万トンの特別枠を設置▽住民税非課税世帯に1世帯当たり10万円を「プッシュ型」で給付▽厳しい状況にある学生に緊急給付金を支給▽年収が960万円以上の世帯を除き、0歳から高校3年生までの子供たちに1人当たり10万円相当を給付▽マイナンバーカードを活用してマイナポイントを活用し、薬局等に来無しなくても経口薬等を入手できる環境を整備▽ワクチン接種を受けられない者を対象にPCR等検査を7002年3月末まで予約不要、無料とできるよう支援▽経口治療薬の年内の実用化を目指し、薬事承認後に約60万回分を医療現場に供給

2．感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援

事業復活支援金で事業収入が減少した事業者に減少額を給付▽実質無利子・無担保融資を92年3月末まで継続▽コロナ禍の影響による水の需要減に相当する15万トンの特別枠を設置▽住民税非課税世帯に1世帯